

# 國民徵用令及び同令施行規則中改正

國民徵用令中改正並に之に伴ふ同令施行規則その他關係法令中改正の件は昭和十六年十二月十六日付官報を以て公布せられた。之を掲ぐれば以下の如くである。

## 國民徵用令中改正ノ件

(昭和十六年十二月十五日  
勅令第四百二十九號)

國民徵用令中左ノ通改正ス

第一條中「賃金其ノ他ノ勞働條件」ヲ「賃金、給料其ノ他ノ從業條件」ニ改ム

第二條中「職業紹介所」ヲ「國民職業指導所」ニ改ム

第三條第二項中「軍事上特ニ必要アル場合」ヲ「特別ノ必要アル場合」ニ改ム

第四條中「管理ノ目的タル」ヲ削り同條ニ左ノ一項ヲ加フ

特別ノ必要アル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ拘ラズ厚生大臣ノ指定スル工場事業場其ノ他ノ施設(以下指定工場ト稱ス)ニ於テ行フ總動員業務ニ從事セシムルコトヲ得

第六條第一項中「管理工場」ノ下ニ「若ハ指定工場」ヲ加フ

第八條中「第三號」ノ上ニ「第二號又ハ」ヲ、「管理工場」ノ下ニ「若ハ指定工場」ヲ加フ

第十二條中「又ハ管理工場」ノ下ニ「若ハ指定工場」ヲ加ヘ「官衙若ハ管理工場」ヲ「官衙、管理工場若ハ指定工場」ニ改ム

第十三條中「官衙若ハ管理工場」ヲ「官衙、管理工場若ハ指定工場」ニ改ム

第十四條第一項中「管理工場」ノ下ニ「若ハ指定工場」ヲ加ヘ同條第二項中「管理工場」ノ下ニ「又ハ指定工場」ヲ加フ

第十七條、第十八條第二項並ニ第十九條第二項及第六項中「管理工場」ノ下ニ「又ハ指定工場」ヲ加フ

第十九條ノ二中「管理工場」ノ下ニ「又ハ指定工場」ヲ加ヘ「賃金其ノ他ノ勞働條件」ヲ「賃金、給料其ノ他ノ從業條件」ニ改ム

第十九條ノ三 被徵用者徵用セラレタルニ因リ其ノ家族ト世帯ヲ異ニスルニ至リタル場合其ノ他特別ノ事情アル場合又ハ被徵用者故意若ハ重大ナル過失ニ因

ルニ非ズシテ業務上傷痕ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ之ガ爲徵用ヲ解除セラレタル場合ニ於テ本人又ハ家族ガ生活スルコト困難ナルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ニ對シ扶助ヲ爲スコトヲ得

被徵用者徵用セラレ總動員業務ニ從事中故意又ハ重大ナル過失ニ因リニ非ズシテ業務上傷痕ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ之ガ爲死亡シタル場合ニ於テ遺族ガ生活スルコト困難ナルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ニ對シ扶助ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ家族又ハ遺族ノ範圍及扶助ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條ノ四 前條ノ規定ニ依ル扶助ガ被徵用者ニシテ管理工場若ハ指定工場ニ使用セラレ若ハ使用セラレタル者又ハ其ノ家族若ハ遺族ニ對シ爲サレタルモノナルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該管理工場又ハ指定工場ノ事業主ヲシテ扶助ニ要シタル費用ヲ國庫ニ納入セシムルコトヲ得

第二十三條第一項及第二十五條第二項中「職業紹介所

長」ヲ「國民職業指導所長」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(參照)

昭和十四年 七月八日 勅令第四百五十一號 國民徵用令抄錄

令抄錄

第一條 國家總動員法(昭和十三年勅令第三百十七號)ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ) 第四條ノ規定ニ基ク帝國臣民ノ徵用及國家總動員法第六條ノ規定ニ基ク被徵用者ノ使用又ハ賃金其ノ他ノ勞働條件ニ關スル命令ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第三條 徵用ハ國民職業能力申告令ニ依ル要申告者(以下要申告者ト稱ス)ニ限り之ヲ行フ但シ徵用中要申告者タラザルニ至リタル者ヲ引續キ徵用スル必要アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

軍事上特ニ必要アル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ拘ラズ命令ノ定ムル所ニ依リ要申告者以外ノ者ヲ徵用スルコトヲ得

第四條 本令ニ依リ徵用スル者ハ國ノ行フ總動員業務又ハ工場事業場管理令ニ依リ政府ノ管理スル工場事業場其ノ他ノ施設(以下管理工場ト稱ス)ニ於テ行フ管理ノ目的タル總動員業務ニ從事セシムルモノトス

第六條第一項

總動員業務ヲ行フ官衙(陸海軍ノ部隊及學校ヲ含ム以下同ジ)ノ所管大臣又ハ管理工場ノ事業主徵用ニ依リ人員ノ配置ヲ必要トスルトキハ厚生大臣ニ之ヲ請求又ハ申請スベシ

第八條 徵用令書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ  
但シ軍機保護上特ニ必要アルトキハ第三號ニ掲グル事項ノ全部又ハ一部ヲ省略スルコトヲ得

二 従事スベキ總動員業務ヲ行フ官衙又ハ管理工場ノ名稱及所在地

三 従事スベキ總動員業務、職業及場所

第十二條 被徵用者ヲ使用スル官衙ノ所管大臣又ハ

管理工場ノ事業主被徵用者ヲ使用スル官衙若ハ管理工場、被徵用者ノ従事スル總動員業務、職業若ハ場所又ハ徵用ノ期間ニ付變更ヲ必要トスルトキ

ハ厚生大臣ニ之ヲ請求又ハ申請スベシ

第十三條 厚生大臣前條ノ規定ニ依リ請求又ハ申請アリタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ被徵用者ヲ使用スル官衙若ハ管理工場、被徵用者ノ従事スル總動員業務、職業若ハ場所又ハ徵用ノ期間ヲ變更スルコトヲ得

第十四條 被徵用者ヲ使用スル官衙ノ所管大臣又ハ管理工場ノ事業主被徵用者ガ疾病其ノ他ノ事由ニ因リ總動員業務ニ従事スルニ適セズト認ムルトキ又ハ其ノ者ヲシテ總動員業務ニ従事セシムル必要ナキニ至リタルトキハ厚生大臣ニ徵用ノ解除ヲ請求又ハ申請スベシ

被徵用者疾病其ノ他ノ事由ニ因リ總動員業務ニ従事シ難キ場合ニ於テハ官衙ニ使用セラルル者ニ在リテハ當該官衙ノ所管大臣ニ、管理工場ニ使用セラルル者ニ在リテハ厚生大臣ニ其ノ旨ヲ申出ヅルコトヲ得

第十七條 被徵用者總動員業務ニ従事スル場合ニ於テハ官衙ニ使用セラルル者ニ在リテハ當該官衙ノ

長ノ指揮ヲ受ケ管理工場ニ使用セラルル者ニ在リテハ當該管理工場ノ事業主ノ指示ニ従フベシ

第十九條ノ二 厚生大臣必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第六條ノ規定ニ基キ被徵用者ヲ使用スル管理工場ノ事業主ニ對シ被徵用者ノ使用又ハ賃金其ノ他ノ勞働條件ニ關シ命令ヲ爲スコトヲ得

國民徵用令施行規則中改正ノ件

(昭和十六年十二月十六日 厚生省令第五十六號)

第八條及第十一條中「管理工場」ノ下ニ「若ハ指定工場」ヲ加フ

第十六條 管理工場又ハ指定工場ノ事業主ハ當該管理工場又ハ指定工場ニ使用スル被徵用者ニシテ死亡シタルモノアルトキハ遲滞ナク左ニ掲グル事項ヲ厚生大臣竝ニ徵用令書ヲ發シタル地方長官ニ報告スベシ

一 氏名、出生ノ年月日及本籍

二 徵用令書發付者、發付年月日及發付番號

三 死亡ノ年月日及事由

四 死亡ノ前後ノ處置竝ニ事業主ガ他ノ法令ニ依リ爲シタル扶助其ノ他之ニ準ズベキ出捐ノ狀況

五 遺族ノ住所

別表様式第二號(表面)中

「従事スベキ總動員業務ヲ行フ官衙ノ所管大臣又ハ管理工場ノ名稱及所在地」何

「従事スベキ總動員業務ヲ行フ官衙ノ所管大臣又ハ管理工場ノ名稱及所在地」何

中「當該管理工場」ノ下ニ「若ハ指定工場」ヲ加フ

別表様式第二號ノ二 出頭變更令書ヲ交付ヲ受ケタル者ノ心得第二號中「當該管理工場」ノ別表様式第二號ノ四

中「従事スベキ總動員業務ヲ行フ官衙ノ所管大臣又ハ管理工場ノ名稱及所在地」何

「従事スベキ總動員業務ヲ行フ官衙ノ所管大臣又ハ管理工場ノ名稱及所在地」何

ニ改メ徵用變更令書ノ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

昭和十四年七月十日 厚生省令第十七號國民徵用令施行規則抄錄

第八條 徵用セラルベキ者又ハ被徵用者徵用令書又ハ出頭變更令書ヲ交付ヲ受ケタルトキハ徵用令書又ハ出頭變更令書ヲ携ヘ指定ノ日時及場所ニ出頭シ當該官吏又ハ當該管理工場ノ事業主ニ届出ツベシ

國民徵用令第三條第二項ノ規定ニ依リ徵用セラルベキ者ノ調査登錄ニ關スル件中改正ノ件

(昭和十六年十二月十六日 厚生省令第五十七號)

第四條中「軍事上特ニ必要ナル」ヲ「特別ニ必要ナル」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

昭和十五年十月十日 厚生省令第四十五號抄錄

第四條 厚生大臣軍事上特ニ必要ナル人員ノ配置ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テ國民職業能力申告令ニ依リ要申告者ヨリ必要ナル人員ヲ得ラレザル場合ハ第二條ノ規定ニ依リ調査登錄シタル者ノ居住地ヲ管理スル地方長官ニ徵用命令ヲ通達ス

昭和十六年厚生省令第三十八號國

民徵用令ニ依リ徵用セラレタル者ノ  
旅費及管理工場ノ專業主ノ國庫ニ納  
入スベキ旅費ニ關スル件中改正ノ件

(昭和十六年十二月十六日)  
(厚生省令第五十八號)

(省略)

國民徵用扶助規則

(昭和十六年十二月二十二日)  
(厚生省令第六十八號)

第一條 國民徵用令第十九條ノ三ノ規定ニ依リ扶助ハ  
本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 國民徵用令第十九條ノ三第一項ノ家族ハ左ニ  
掲グルモノトス

一 被徵用者又ハ被徵用者タリシ者ノ配偶者(届出  
ヲ爲サザルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル  
者ヲ含ム以下同ジ)又ハ子ニシテ現ニ之ト同一ノ  
家ニ在ル者但シ養子ハ家督相續人ニ限ル

二 前號ニ掲グル者ヲ除クノ外被徵用者又ハ被徵用  
者タリシ者ニ依リ扶養ヲ受クベキ者ニシテ被徵用  
者ノ徵用セラレタル時又ハ徵用ヲ解除セラレタル  
時ヨリ引續キ之ト同一ノ家ニ在ル者

三 前二號ニ掲グル者ヲ除クノ外被徵用者又ハ被徵  
用者タリシ者ニ依リ扶養ヲ受クベキ者ニシテ被徵  
用者ノ徵用セラレタル時又ハ徵用ヲ解除セラレタ  
ル時之ト同一ノ世帯ニ在リ且引續キ其ノ世帯ニ在  
ルモノ

第三條 國民徵用令第十九條ノ三第二項ノ遺族ハ左ニ  
掲グルモノトス

一 死亡シタル被徵用者又ハ被徵用者タリシ者ノ配

偶者又ハ子ニシテ現ニ被徵用者又ハ被徵用者タリ  
シ者ガ死亡ノ時屬シタル家ニ在ル者但シ養子ハ家  
督相續人ニ限ル

二 前號ニ掲グル者ヲ除クノ外死亡シタル被徵用者  
又ハ被徵用者タリシ者ニ依リ扶養ヲ受クベキ者ニ  
シテ被徵用者又ハ被徵用者タリシ者ノ死亡ノ時ヨ  
リ引續キ之ト同一ノ家ニ在ル者

三 前二號ニ掲グル者ヲ除クノ外死亡シタル被徵用  
者又ハ被徵用者タリシ者ニ依リ扶養ヲ受クベキ者  
ニシテ被徵用者ノ徵用セラレタル時又ハ徵用ヲ解  
除セラレタル時之ト同一ノ世帯ニ在リ且引續キ其  
ノ世帯ニ在ルモノ

第四條 扶助ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テノ  
ミ之ヲ爲ス

一 被徵用者徵用セラレタルニ因リ家族ト世帯ヲ異  
ニスルニ至リタル場合ニ於テ其ノ家族生活スルコ  
ト困難ナルトキ

二 被徵用者故意又ハ重大ナル過失ニ因ルニ非ズシ  
テ業務上傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ之ガ爲徵用ヲ  
解除セラレタル場合ニ於テ本人又ハ其ノ家族生活  
スルコト困難ナルトキ

三 被徵用者徵用セラレ總動員業務ニ從事中故意又  
ハ重大ナル過失ニ因ルニ非ズシテ業務上傷痍ヲ受  
ケ又ハ疾病ニ罹リ之ガ爲死亡シタル場合ニ於テ其  
ノ遺族生活スルコト困難ナルトキ

被徵用者徵用セラレタル場合ニ於テ家族ト世帯ヲ異  
ニセザル場合ト雖モ特別ノ事情ニ因リ其ノ家族ガ生  
活スルコト困難ナルトキハ之ニ對シ扶助ヲ爲スコト  
ヲ得

第五條 扶助ハ生活ニ必要ナル限度ヲ超ユルコトヲ得  
ズ

扶助ノ種類ハ生活扶助、醫療、助産、生業扶助及埋  
葬費ノ支給トス

第六條 扶助ハ扶助ヲ受ケントスル者ノ住所地方長  
官之ヲ行フ

扶助ハ扶助ヲ受ケントスル者又ハ其ノ住所都市町村  
長若ハ之ニ準ズベキモノノ申請ニ依リ之ヲ行フ但シ  
地方長官必要アリト認ムルトキハ其ノ申請ナキ場合  
ト雖モ之ヲ行フコトヲ得

扶助ノ程度及方法ハ地方長官被徵用者ノ支給ヲ受ク  
ル給與又ハ被徵用者若ハ被徵用者タリシ者及扶助ヲ  
受ケントスル者ノ他ノ法令ノ規定ニ依リ受クル保險  
給付、扶助其ノ他之ニ準ズベキモノ、所得、勞働能  
力其ノ他家庭ノ事情等ヲ調査シ之ヲ決定ス

第七條 扶助ハ扶助ヲ受クル者ノ居宅ニ於テ之ヲ行フ  
地方長官居宅扶助ヲ爲スコト能ハズ又ハ之ヲ適當ナ  
ラズト認ムルトキハ扶助ヲ受クル者ヲ適當ナル施設  
ニ收容シ又ハ收容ヲ委託シテ扶助スルコトヲ得

第八條 生活扶助ハ金錢又ハ物品ノ給與ニ依リ之ヲ行  
フ

第九條 生業扶助ハ生業ニ必要ナル資金、器具、資料  
ノ給與若ハ貸與ヲ爲シ又ハ生業ニ必要ナル技能ヲ授  
クルコトニ依リ之ヲ行フ

第十條 居宅扶助ノ場合ニ於テ生活扶助ノ爲支出スル  
費用ハ一人一日三十五錢以内トス

一世帯ニ於テ扶助ヲ受クル者二人以上アルトキハ前  
項ノ費用ハ之ヲ減額スルコトヲ得

第十一條 居宅扶助ノ場合ニ於テ醫療及生業扶助ノ爲

支出スル費用ノ限度ハ地方長官厚生大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ム

第十二條 居宅扶助ノ場合ニ於テ助産ノ爲支出スル費用ハ十二圓以内トス

第十三條 第七條第二項ノ規定ニ依ル收容扶助ノ場合ニ於テ扶助ノ爲支出スル費用ノ限度ハ地方長官厚生大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ム

第十四條 扶助ヲ受クル者死亡シタル場合ニ於テハ埋葬ヲ行フ遺族ニ對シ埋葬費ヲ給ス  
埋葬ノ爲支出スル費用ハ十二圓以内トス

扶助ヲ受クル者死亡シタル場合ニ於テ埋葬ヲ行フ遺族ナキトキハ扶助ヲ行ヒタル地方長官ニ於テ埋葬ヲ行フベシ

第十五條 災害ニ因リ必要アル場合ニ於テハ地方長官ハ一世帯總額三千圓ヲ限り生活扶助ノ爲金錢若ハ物品ヲ臨時給與シ又ハ之ヲ併セ給與スルコトヲ得

第十六條 被徵用者又ハ被徵用者タリシ者六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル場合ニ於テハ其ノ者竝ニ其ノ家族及遺族ニ對シ扶助ヲ爲サズ

第十七條 被徵用者又ハ被徵用者タリシ者六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラレタル場合ニ於テハ其ノ刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ間其ノ者竝ニ其ノ家族及遺族ニ對シ扶助ヲ爲サズ

第十八條 被徵用者ノ家族又ハ遺族六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル場合ニ於テハ其ノ者ニ對シ扶助ヲ爲サズ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラレタル場合ニ於テハ其ノ刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ間亦同ジ

第十九條 被徵用者ニシテ逃亡シタル者ニ付テハ其ノ

逃亡ノ間其ノ家族ニ對シ扶助ヲ爲サズ

第二十條 被徵用者又ハ被徵用者タリシ者ニシテ怠惰又ハ素行不良ナル者ニ付テハ其ノ被徵用者タリシ者竝ニ其ノ被徵用者又ハ被徵用者タリシ者ノ家族及遺族ニ對シ情狀ニ因リ扶助ヲ爲サズ又ハ扶助ノ程度ヲ減少スルコトヲ得

被徵用者又ハ被徵用者タリシ者ノ家族又ハ遺族ニシテ怠惰又ハ素行不良ナル者ニ對シ亦前項ニ同ジ

第二十一條 被徵用者タリシ者ニシテ日本ノ國籍ヲ失ヒタル者ニ對シテハ扶助ヲ爲サズ

第二十二條 被徵用者ノ家族ニ對スル扶助ハ必要アル場合ニ於テハ被徵用者徵用解除後仍二十日以内之ヲ繼續スルコトヲ得

第二十三條 被徵用者又ハ被徵用者タリシ者ノ家族ニ對スル扶助ハ被徵用者又ハ被徵用者タリシ者死亡後仍三月以内之ヲ繼續スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ扶助ヲ受クル者ニ對シテハ其ノ間被徵用者又ハ被徵用者タリシ者ノ遺族トシテノ扶助ハ之ヲ爲サズ

第二十四條 被徵用者第四條第一項第二號ニ該當スル場合ニ於テハ被徵用者ノ家族ニ對スル扶助ハ被徵用者徵用解除後仍三月以内之ヲ繼續スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ扶助ヲ受クル者ニ對シテハ其ノ間被徵用者タリシ者ノ家族トシテノ扶助ハ之ヲ爲サズ

第二十五條 特別ノ必要アル場合ニ於テハ地方長官ハ厚生大臣ノ認可ヲ受ケ第十條第一項、第十二條、第十四條第二項及第十五條ノ規定ニ依ル金額ヲ増加スルコトヲ得

第二十六條 扶助ノ廢止若ハ停止又ハ扶助ノ程度若ハ

方法ノ變更ハ地方長官之ヲ行フ

第二十七條 扶助ノ開始、廢止若ハ停止又ハ扶助ノ程度若ハ方法ノ變更ノ處分ハ扶助ヲ受クル者ノ住所都市町村長又ハ之ニ準ズベキモノヲ經テ之ヲ通達ス

地方長官扶助ノ開始、廢止若ハ停止又ハ扶助ノ程度若ハ方法ノ變更ヲ爲シタルトキハ被徵用者ヲ使用シ又ハ使用シタル官衙ノ長又ハ管理工場若ハ指定工場ノ事業主ニ其ノ旨通知スベシ

第二十八條 管理工場又ハ指定工場ノ事業主ハ被徵用者ニシテ當該管理工場又ハ指定工場ニ使用セラレ又ハ使用セラレタルモノノ徵用ニ關スル事項ニ付扶助ヲ受ケントスル者ノ住所地方長官又ハ住所都市町村長若ハ之ニ準ズベキモノヨリ照會ヲ受ケタルトキハ速ニ之ヲ通知スベシ

管理工場又ハ指定工場ノ事業主ハ當該管理工場又ハ指定工場ニ使用スル被徵用者故意又ハ重大ナル過失ニ因ルニ非ズシテ業務上傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ之ガ爲徵用ヲ解除セラレ又ハ死亡シタルトキハ速ニ當該被徵用者タリシ者ノ住所都市町村長若ハ之ニ準ズベキモノニ其ノ旨通知スベシ

管理工場又ハ指定工場ノ事業主ハ當該管理工場又ハ指定工場ニ使用スル扶助ヲ受クル家族ヲ有スル被徵用者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ速ニ扶助ヲ行フ地方長官ニ其ノ旨通知スベシ

一 支給ヲ受クル給料、賃金又ハ給料、賃金ニ準ズベキ給與ノ額ニ著シキ變更アリ扶助ノ廢止又ハ扶助ノ程度ノ變更ヲ要スト認メラルトキ

二 第十六條、第十七條、第十九條又ハ第二十條第一項ニ該當スルトキ

三 従事スベキ總動員業務ヲ行フ管理工場又ハ指定工場ニ付徵用ヲ變更セラレタルトキ

第二十九條 扶助ヲ拒マレタル者又ハ扶助ヲ廢止若ハ停止セラレタル者ハ六十日以内ニ厚生大臣ニ對シ更ニ審査ヲ出願スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル出願ハ文書ヲ以テシ處分ヲ爲シタル地方長官ヲ經由シテ之ヲ爲スコトヲ要ス  
厚生大臣ハ審査ノ上必要ト認ムルトキハ地方長官ヲシテ扶助ヲ爲サシメ又ハ扶助ノ廢止若ハ停止ノ處分ヲ取消サシムルコトヲ得

第三十條 管理工場又ハ指定工場ノ事業主ハ被徵用者ニシテ當該管理工場又ハ指定工場ニ使用セラレ若ハ使用セラレタルモノ又ハ其ノ家族若ハ遺族ニ對シ爲サレタル扶助ニ要シタル費用ヲ國庫ニ納入スベシ  
被徵用者徵用ヲ解除セラレ又ハ死亡シタル場合ニ於テ事業主ガ本人又ハ遺族ニ對シ他ノ法令ノ規定ニ依ル扶助又ハ之ニ準ズベキ程度ノ出捐ヲ爲シタルトキハ厚生大臣ハ前項ノ費用ノ納入ヲ免除スルコトヲ得

附則

本令ハ昭和十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

昭和十四年七月八日勅令第四百五十一號國民徵用令  
抄録

第十九條ノ三 被徵用者徵用セラレタルニ因リ其ノ家族ト世帯ヲ異ニスルニ至リタル場合其ノ他特別ノ事情アル場合又ハ被徵用者故意若ハ重大ナル過失ニ因ルニ非ズシテ業務上傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ之ガ爲徵用ヲ解除セラレタル場合ニ於テ本人又ハ家族ガ生活スルコト困難ナルトキハ命令ノ定

ムル所ニ依リ之ニ對シ扶助ヲ爲スコトヲ得

被徵用者徵用セラレ總動員業務ニ從事中故意又ハ重大ナル過失ニ因ルニ非ズシテ業務上傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ之ガ爲死亡シタル場合ニ於テ遺族ガ生活スルコト困難ナルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ニ對シ扶助ヲ爲スコトヲ得  
前二項ノ家族又ハ遺族ノ範圍及扶助ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

醫療關係者徵用令並ニ同令施行規則

の公布

國家總動員法に基ク國民徵用令の一部をなす醫療關係者徵用令並ニ同令施行規則は昭和十六年十二月十六日付官報を以て公布を見たが、之を掲ぐれば以下の如くである。

醫療關係者徵用令 (昭和十六年十二月十五日勅令第四百三十一號)

第一條 國家總動員法(昭和十三年勅令第三百十七號)ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ) 第四條ノ規定ニ基ク醫師、齒科醫師、藥劑師及看護婦(以下醫療關係者ト總稱ス)ノ徵用並ニ國家總動員法第六條ノ規定ニ基ク被徵用者ノ使用又ハ給料其ノ他ノ從業條件ニ關スル命令ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本令ニ於テ醫師トハ醫師法ニ依リ厚生大臣ノ免許ヲ受ケタル醫師、齒科醫師トハ齒科醫師法ニ依リ厚生大臣ノ免許ヲ受ケタル齒科醫師、藥劑師トハ藥劑師法ニ依リ厚生大臣ノ免許ヲ受ケタル藥劑師ヲ謂フ但シ朝鮮ニ在リテハ各朝鮮總督ノ免許ヲ受ケタル醫師、齒科醫師及藥劑師ヲ、臺灣ニ在リテハ各臺灣

總督ノ免許ヲ受ケタル醫師、齒科醫師及藥劑師ヲ、樺太ニ在リテハ各樺太廳長官ノ免許又ハ假免許ヲ受ケタル醫師、齒科醫師及藥劑師ヲ、南洋羣島ニ在リテハ各南洋廳長官ノ指定スル者ヲ含ム

本令ニ於テ看護婦トハ命令ヲ以テ定ムル看護婦ヲ謂フ  
第三條 徵用ハ特別ノ事由アル場合ノ外募集ノ方法ニ依リ所要ノ人員ヲ得ラザル場合ニ限り之ヲ行フモノトス

第四條 本令ニ依リ徵用スル者ハ左ノ各號ノ一ニ掲グル業務ニ従事セシムルモノトス

一 國ノ行フ軍事上又ハ軍人援護上必要ナル衛生ニ關スル總動員業務

二 國、地方公共團體又ハ防空法第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者(以下防空計畫設定者ト稱ス)ノ行フ防空上必要ナル衛生ニ關スル總動員業務

三 國又ハ地方公共團體ノ行フ衛生ニ關スル總動員業務ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノ

四 工場事業場管理令ニ依リ政府ノ管理スル工場事業場其ノ他ノ施設及厚生大臣ノ指定スル工場事業場其ノ他ノ施設(以下工場事業場ト總稱ス)ニ於ケル衛生ニ關スル總動員業務

前項第三號又ハ第四號ニ掲グル業務ニ従事セシムル爲醫療關係者ヲ徵用スルハ國民衛生上特ニ必要アル場合ニ限ル

第五條 徵用及徵用ノ解除ハ厚生大臣ノ命令ニ依リ之ヲ實施ス

第六條 總動員業務ヲ行フ官衙(陸海軍ノ部隊及學校ヲ含ム以下同ジ)ノ所管大臣、地方公共團體ノ長、